



平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞団体

センソオブアース・市民による自然共生パンゲア からのお知らせ



## 「木の顔はどんな顔」プログラムの紙芝居づくり

日本女子大学人間社会学部生涯教育計画の授業  
《田中雅文教授担当》

外部講師: SOE

6月6日(月)◎3時限 90分授業で実施

SOE創作童話「森と子どものひみつ作戦」を読み合わせをし、学生たちの手で紙芝居化しました。NPOからは、SOEのメンバーの新井さとみ・池田朱里（以上2名日本女子大学の卒業生）と北野事務局長、柳理事・寺田理事が参加。お話を読み聞かせてから、一人1枚を目当てに森が消える話を真剣に絵にしました。～2ページへ続く



## 第12回沖縄エコツアーのごあんない

日程◎8月27日(土)～30日(火)

お申込締切◎6月30日



開催地：沖縄県国頭郡本部町備瀬

参加費用：75,000 円前後

（航空券代・宿泊代・全食事代含む）

シュノーケリング・カヌー乗り・現地小学校との交流・マリンブルーの海を守るゴミ拾い

お問い合わせ・お申込み（担当直通）

mail : terada.soe@spice.ocn.ne.jp

tel&fax : 03-3960-6052

詳細は 4 ページへ

## ～学生たちの思い～



☆小学生の時に紙芝居を読んだ時と同じやさしい気持ちになりました。☆自然と人間の交流が描かれていてとても楽しかった。☆子どもたちも公園に行くと木と対話したくなるのではないかな。☆子どもたちにむずかしい話をしてもらえないので、絵本や紙芝居にすることはとても素敵なやり方。☆本当にありそうな話だと思いました。純粋な気持ちを持っている子どもたちだからこそ、木と話

ができる。子どもだけの不思議な世界。☆木にいろいろな性格があり、子どもたちと様々なかかわり方をしているのがおもしろく、木に対する見方が変わった。☆楽しい。ワクワクする気持ち。名前とかも特徴的で面白い中に勉強になるのかな。☆グループで書いたものを並べてみると、ストーリーがわかって楽しかった。☆とても分かりやすい話で、子どももこれなら楽しく環境について学ぶことができると思った。☆今の地球の状況を把握し、それを伝える活動は大切だ。☆子どもたちはこの話



を知って、自然の大切さや面白さを感じ、大切にしようと思ったり好きになったりするだろう。☆子どもたちにわかりやすいように環境学習を取り入れているすごいな。

☆教員になったときに生かしていきたい。☆子どもたちが森が大好きで大切な存在であるという強い思いを感じ、その気持ちがあればあきらめないことの大切さを教えてくれるお話だ。☆これを見た子どもたちが次に公園で遊ぶ時に木に興味を示すようになるだろう。☆お話の中の人物の気持ちに寄り添える話だった。☆大人たちの勝手な考えで子どもたちの遊び場をなくすようなことはしてはいけないと思った。子どもたちにとって自然がお友達のような存在になればいいな。☆紙芝居にするのは難しかったが、この活動が子どもたちの理解につながるの素晴らしい。☆クスノキとは何か、純粋に興味があった。☆絵を描くことでより物語の世界に入れて楽しかった。☆木と子どもがいつ

しよにいなくなってしまう展開がおもしろかった。☆子どもでも意思をもって主張すれば大人を動かせるのだと強い心を刺激するのでは。☆紙芝居の面白さの深さを感じた。☆「僕らはみんな生きている」生きているものを大切にしようという思いはきっと子どもたちに届く。☆絵をかきながら木への愛着がわいた。



# はらっぱのかくれんぼ大会

5月25日(水)◎板橋区立蓮根保育園◎4・5歳児45人

4・5歳児がとっても仲良く手をつなぎ、城北交通公園で、生きもの探しの活動をしました。

たくさんの園児が訪れる城北交通公園。遊ぶ場所のルールを守って、キロリの鬼ごっこを元気よく行ってから、はらっぱのかくれんぼ大会の紙芝居を見ました。それから、2人一組で、探検カードをもって公園内の生きものを探しに。しっかり小鳥の声を聴きとっている子どもたちもいて、感心しました。テントウムシを見つけた子どももいて、大人の観察眼の負けでした。



# 東京家政大産みそ 自力で仕込みました

～緑苑祭(大学祭)での地産地消を目指して～

東京家政大学宮地ゼミでは、昨秋好評だった大学祭の取り組みの味噌汁店を今年も取り組もうと、5月30日に地産地消みそ造りを行いました。

これで、大学で2回目の仕込みなので、宮地先生はじめ、学生のみなさんも、慣れた手つきで大豆を煮て、2樽のみそに仕上げました。



昨年収穫したワタをさわってみた



# 「日本産茶綿(茶のコットン)を植えたよ」

板橋第六小学校◎3年生64名◎6月1日

3年生理科で、コットンの種の植え付けを行いました。NPO法人いた・エコ・ネット(SOEも団体加盟している)によるフクシマ復興支援の取り組み(種・プランター・培養土など学校へ寄付)のコットンプロジェクトからのプレゼントです。昨年収穫した本物の、

茶綿の感触をみんなが確かめ、温かさ、柔らかさに、にっこりする子どもたちが目立ちました。

**3年生の声** ★毎日水やお世話をして早く大きくさせたい。ワタを作っているところ(福島)をおうえんしたい。★水やりをそっとやらないと綿がたくさんできないので、一番大切。

★コットンをいっぱい収穫したらフクシマの人に分けてあげたいです。★ワタを収穫したら、人形を作りたいです。★ワタの種はとても小さくてかわいかったです。★毎日水やりをしてワタで人形を作りい。収穫したワタをさわってみたいです。★困っているところにワタをあげたいです。

# 第12回沖縄エコツアーのごあんない

SOE設立の年に開始したエコツアーは12回目となり、多くの人たちに、大自然からの学びとやさし、交流の温かさを提供してまいりました。全て手作りの企画です。サンゴも生きていて、そこに数知れない熱帯魚がすみ続けている美しいコバルトブルーの海を守る備瀬地区の人々と密に交流しています。宿舎から1分の海岸で、泳いだり、シュノーケリングしたり、バーベキューしたりします。少し離れた羽地の内海でカヌーもします。地区の子どもたちと工作や学習もしてきました。

## ツアー行程

過去に実施したツアーの内容に基づいたもので、一部変更の可能性がります。詳細が決定次第、参加者にはしおり等でお知らせいたします。

8月27日(土)
集合 ※ 9:00 頃を予定 成田空港発 那覇空港着・昼食 備瀬に移動 フクギ並木を散策 備瀬崎にてサンセット鑑賞 夕食



8月28日(日)
宿舎にて朝食 海辺のごみ拾い 地元の子どもたちとの交流 工作や自然遊びなど 地元の食堂での昼食 シーカヤックまたはトレッキング 夕食(交流会)



8月29日(月)
宿舎にて朝食 地元小学校での環境教育 プログラムの実践(調整中) 地元の食堂での昼食 自由時間 シュノーケリング・現地交流など BBQ(交流会)

8月30日(火)
宿舎にて朝食 備瀬周辺の施設見学 美ら海水族館または今帰仁城 昼食 那覇に移動・観光 那覇空港発 成田空港着・解散

## 備瀬周辺ガイド

### フクギに守られた備瀬

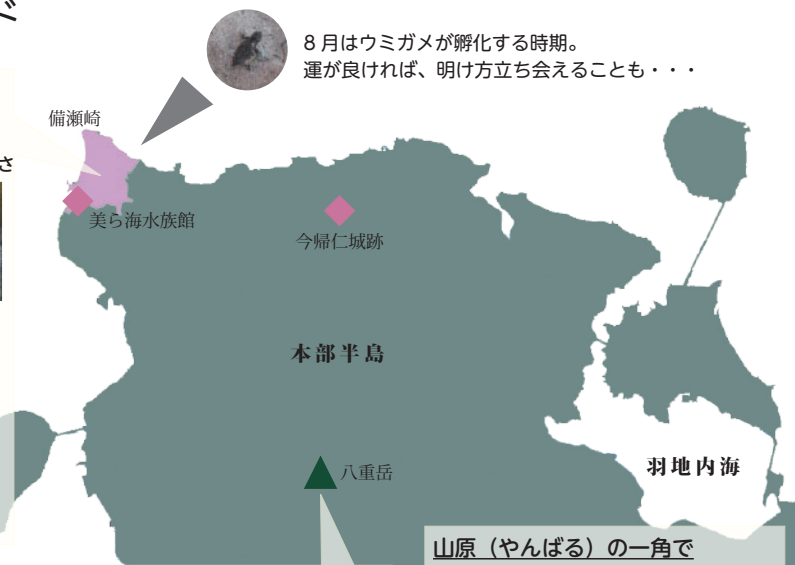
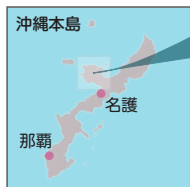
防砂林・防風林として植えられたフクギ。備瀬のフクギ並木”はその美しさでも有名なところです。そこには、台風が多い沖縄の、昔ながらの風景が広がっています。



沖縄エコツアーでは、備瀬の海でシュノーケリングを体験したり、海辺のごみ拾いで環境保全のお手伝いをしたり・・・



豊作・豊漁に感謝する祭事の見学や地元の方々との交流など、備瀬の魅力に目一杯触れることができます。



8月はウミガメが孵化する時期。運が良ければ、明け方立ち会えることも・・・

### 備瀬を一望できる八重岳

本部半島では最も高い453mをほこる八重岳。眺望の良さは申し分ありません。この場所で農業を営む八重岳ベストライフセンターの方々と交流も魅力の一つです。



### 山原(やんばる)の一角で

沖縄の北部一帯をさす「やんばる」諸説がありますが、備瀬がある本部半島もその一角です。森林が多く、海にも囲まれたこの一帯は、沖縄の自然を一番ありのままに体験できる場所です。このエコツアーでは、がじゅまる自然学校の案内で、シーカヤック・リポートレッキングなどの中からひとつを体験します。

お問い合わせ・お申込み(担当直通)◎お申込み締め切り:6月30日  
mail: terada.soe@spice.ocn.ne.jp tel&fax: 03-3960-6052

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052